

子どもの事故を防ぎましょう！

1年間に0歳児の4人に1人、1～4歳では3人に1人が病院を受診するような事故にあっています。

子どもの事故は、発達と事故の関係を知り、大人が少しの気配りをすることで未然に防げます。

☆月齢・年齢別で起こりやすい事故

月齢・年齢	起こりやすい事故	予防のポイント
新生児～6カ月 	窒息事故	○寝具の環境を整える ・布団は固めのものを選ぶ ・タオルや布団で赤ちゃんの顔を覆わないようにする ○ボタン電池や硬貨、指輪などの小物は手の届かない所に片付ける。
	転落事故	○少しずつ動いて移動していることがあるので、ベッドの柵は必ず上げておく。
7カ月～11カ月 	転落・転倒 (縁側、玄関、ベビーカー、階段などからの転落など)	○ハイハイやつかまり立ちができて、動き回るようになり、いろいろな事故がおこりやすくなるので、子どもから目を離さないようにする。
	やけど、誤飲・中毒	○子どもの身の回りや手の届くところに、誤飲ややけどにつながるようなものは置かない。
1歳～4歳 	溺水	○浅い水でも浴槽で溺死することがあるので、浴槽の水を抜いておく。 ○風呂場には鍵をかけておく。
	交通事故、誤飲・中毒	○危険なことをした場合に毅然とした態度でしかる、などの安全のしつけをする。